



■公開シンポジウム■ 日本学術振興会 課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業(実社会対応プログラム)  
協力・共催 「生殖補助医療・社会的養護によるLGBTの家族形成支援システムの構築」二宮周平(立命館大学法学部教授)

# 性の多様性と 家庭養護

## —子ども、地域、行政をつなぐ—

親であれ、子であれ、LGBTのいる家庭は、社会的に孤立しやすい立場に置かれながらも、私たちと同じ社会に生きている。孤立を生み出す偏見や差別は、子ども達の健やかな成長を妨げる。大人として、一地域に暮らす人間として、私たちは子どもたち、そして、子どもたちが育つ家庭への差別・偏見をそのままにしておいてよいのだろうか。

家庭養護(里親制度)は遺伝的關係や性別にかかわらずに、LGBTを含む大人が協力して子どもの育みにかかわる社会的制度である。本シンポジウムでは、家族を孤立させずに外へと開いていくために私たちは何ができるかを、家庭養護とそれに関連する取り組みを事例に、子どものために活動してきた講師とともに考えたい。

日時  
会場

2019年

6月22日 土 23日 日

金沢勤労者プラザ 研修室101 [金沢市北安江3丁目2-20]

初日

6/22

13:15開場 13:30～16:30

- ・挨拶&本シンポジウムの趣旨  
三部倫子(石川県立看護大学講師)、谷口洋幸(金沢大学准教授)
- ・LGBTと社会的養護 —育てる側、育てられる側—  
藤めぐみ(一般社団法人レインボーフォスターケア代表理事)
- ・LGBTが子どもの育みに関わること —法の視点から考える—  
立石直子(岐阜大学准教授)
- ・石川県における家庭養護の現状  
福村一(石川県中央児童相談所所長)

2日目

6/23

9:15開場 9:30～11:30

- ・里親としての一体験  
二飯田秀一(石川県里親会会長)
- ・社会の親として生きる —虐待・貧困・依存 家族関係の課題を解決するための地域支援拠点の実践—  
友永まや(特定非営利活動法人NPO亀岡人権交流センター事務局長)
- ・ディスカッション—子ども、行政、地域をつなぐために—  
司会：三部倫子、谷口洋幸

お申込

会場準備のため右のQRコード(下記URL申込サイト)よりお申込み願います。

[https://www.kokuchpro.com/event/2019knzw\\_sympo/](https://www.kokuchpro.com/event/2019knzw_sympo/)

■後援 石川県/金沢市/石川県立看護大学/金沢大学

■協力 国連大学IAS いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット

■主催 金沢シンポジウム実行委員会

Tel.076-281-8343 (石川県立看護大学サンベ)

